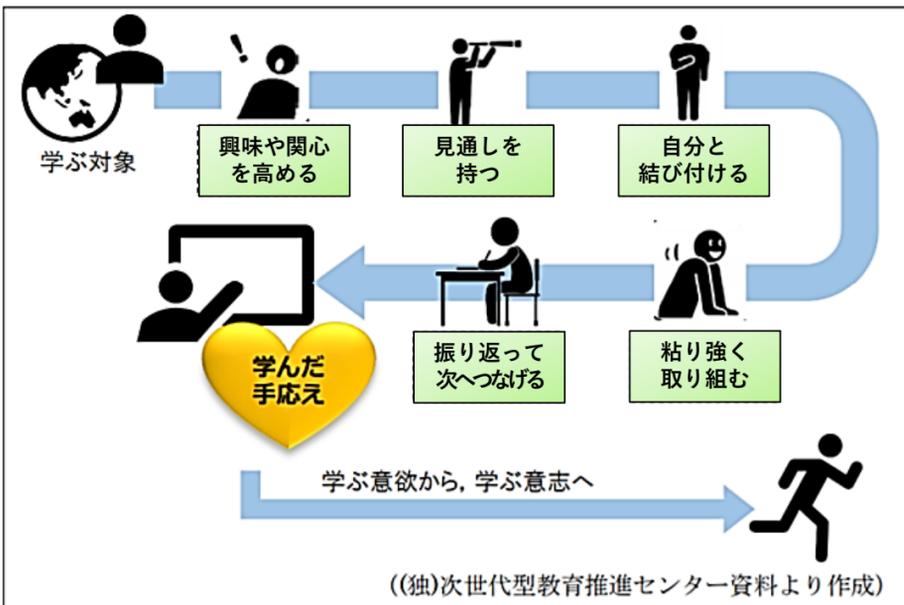


3密を避け、効率よく授業を進めながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

7月から学校訪問が始まりました。訪問の中で、先生方が、3密を避けたり、授業の遅れを取り戻したり、また、第2波が来るかもしれないことも想定しながら、なるべく効率よく授業を進める工夫をされている姿に出会っています。今号からは、各学校における「3密を避け、効率よく授業を進めながら『主体的・対話的で深い学び』へ向かう工夫」を紹介していきたいと思ひます。各校の実践に活かしていただけたら幸いです。

このページではまず、「主体的・対話的で深い学び」とは何なのかを再確認してみましょう。



「主体的な学び」

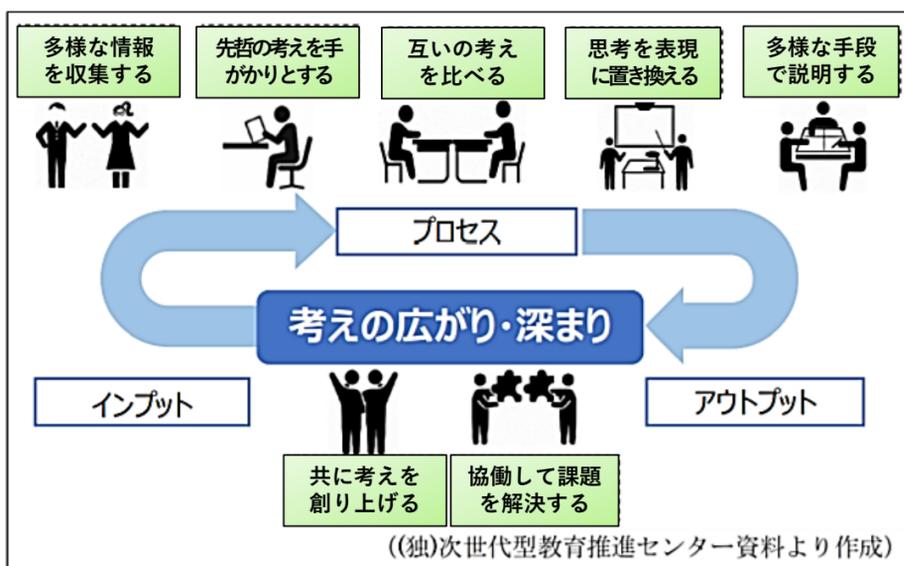
学ぶことに興味・関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び。

児童生徒が興味・関心を持つことだけでなく、見通しをもったり、振り返ったりしながら、学びを次につなげることが大切にされているよ。

「対話的な学び」

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び。

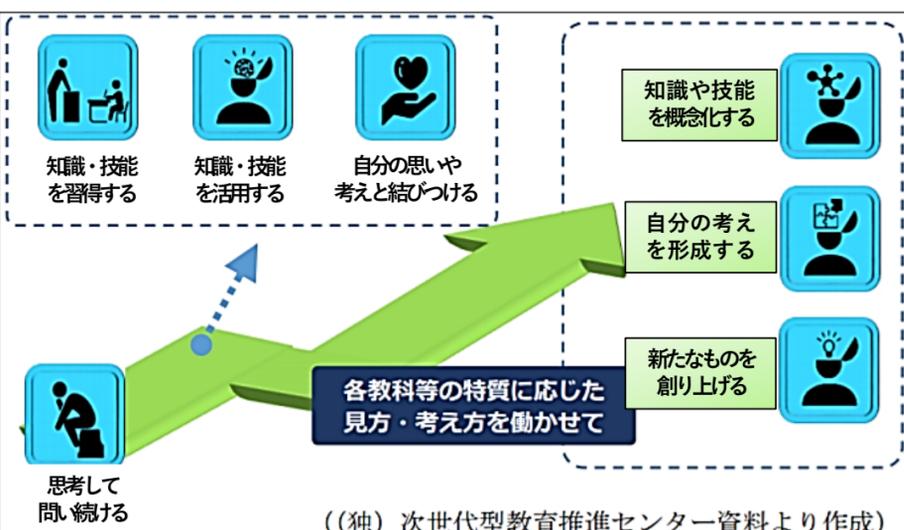
「先哲の考え方を手掛かりに考える」とあるように、誰かと言葉を交わすことだけではなく、資料や文章など、学ぶ対象とじっくり向き合い、自己の考えを広げ深めることも「対話的な学び」なんだね。



「深い学び」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう学び。

「深い学び」は、「知識を相互に関連付けてより深く理解」、「情報を精査して考えを形成」など、いくつかの例示がされていることに注目したいね。



3密を避け、効率よく授業を進めながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

主体的な学び
への工夫

工夫：「問い」が生まれる資料の提示
(K小学校 5年 米作りのさかんな地域)

社会

- 教師が資料を提示
- ① 10aあたりの米の生産量
【長野県：全国1位】
- ② 1等米の比率
【長野県：全国1位】

10aあたりの生産量									
23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産		
604kg	610kg	632kg	597kg	604kg	624kg	629kg	618kg		
国 (全国1位)	(全国2位)	(全国1位)	(全国3位)	(全国3位)	(全国1位)	(全国1位)	(全国1位)		

【山形県】

- ・米作りは東北地方、北海道など寒く、広い平野のある所でさかんなんだな。長野県は山がちで平野が少ないから、米作りは東北地方に比べたらさかんだのではないかもな。

【長野県】

- ・長野県の米作りにも全国トップレベルなことがあるんだ！
どんな工夫をしているんだろう？
→長野県の米作りの秘密を探ろう
- ・降水量、気温、米作りの方法など、山形県と比べながら調べよう。

山形県の米作りを学んだうえで、長野県が全国1位となっている資料を教師がタイミングよく提示することにより、子どもたちの**興味関心が高まる**と共に、子どもたちの中から、「長野県はどんな工夫をしているんだろう」と新たな問いが生まれているね。山形県の米作りを学んでいることで、「降水量、気温、米作りの方法」など、次の**追究の見通し**が子どもたちの中に自然に生まれ、この後の調べ学習は、より短時間で、**効率よく進んだ**そうだよ。

対話的な学び
への工夫

工夫：先生が創った短歌との比較
(A中学校 2年 新しい短歌のために)

国語

先生も短歌を考えてみました。子規の短歌と比べてどこがどうなるといいのかわかるか、アドバイスをください。

先生
春色に
伸びゆく
薔薇は
新たな芽
針柔らかに
春雨が
ふる

子規
くれなるの
二尺伸びたる
薔薇の芽の
針やはらかに
春雨のふる

えっ、先生の短歌！
どんな短歌なのかな？

ん？何か変な感じ。
どうしてかな？

似ているけれど、言葉
が違う。比べてみよう。

作品との対話

- ・「二尺」のように具体的にした方が、伸びている勢いが伝わるよ。
- ・「柔らか」より「やはらか」の方が柔らかい感じがする。

先生が考えた「子規と言葉は似ているけれど少し違う短歌」という教材の工夫により、生徒の中で、自然と言葉と言葉を比べて読む「**作品との対話**」が始まっていたよ。

学び続ける教師 ～教師力向上研修～



対話がもたらすもの

初任者にとって初の顔合わせとなった教師力向上研修Ⅱ（7月7日 長野県総合教育センター）

出会い

グループでの対話

仲間と1つの方向を見いだす



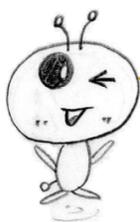
かたい表情, かたいからだ

わたしの悩み, 葛藤を伝え, あなたの思いを受け止め

お互いが, 柔和な表情へ

上記のグループ対話で見いだした初任者先生の疑問について, 5年経験者の先生から贈る言葉

小学校と中学校で異なる部分もあると思いますが, 聞くことは大切にしています。(中略) 1年目, 分からないことだらけで大変だったことを思い出しています。今年1年は周りの先生を頼ってどんどん相談しながら仕事をしてください。理想があって教員になられたわけですから責任も強く感じていると思いますが, どうか肩の力を抜いて子どもに関わってください。



他者との対話により, 心の中に温かな思いがふくらむことを, 初任者の先生の研修の様子や表情, 5年目の先生の語りからうかがうことができました。どんな環境であれ, 私たちは他者を求めているのですね。わたしの「問い」に心を寄せ合える場を「対話」の場ととらえ, これからも研修の中で位置付けていきます。

リモート授業力アップ（電話・Zoom）相談

～「子ども自身が考えて行動できるような授業をつくりたい」～

コロナ禍でもつながる！

6月15日（月）～26日（金）に, 授業力アップ（電話・Zoom）相談を行いました。例年であれば先生方の自主的な参加を募り, 一堂に会して授業づくりについての研修を行うところですが, 今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から, 電話やZoomを使ってのリモート相談を行いました。

参加者の声から

自分の日常を振り返って, 考える機会を意図的にもつことで子どもに問いが生まれ, 意欲につながるようになりました。ただ知識・技能を教えるのではなく, 実践的・体験的な活動を通して, 日常に生かすことが大切であることを学びました。子ども自身が考えて行動できるような授業をつくりたいです。



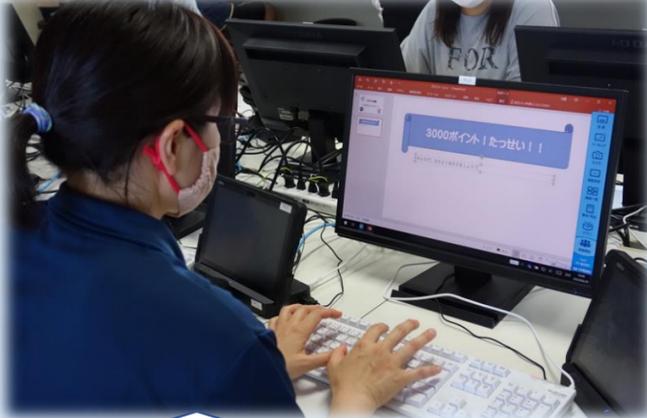
今日の相談を受けて, 明日からすぐに使える方法を学ぶことができました。子どもたちの意見やつながりを大切にした授業づくりにこれからも取り組んでいきたいです。

「オンライン学習 やってみよう」研修 ～つながるよろこび～

6月から、要請のあった学校へ訪問し、授業動画の作り方、Zoomを用いたオンライン授業のやり方の研修をしています。Zoomの画面にご自身や同僚の先生の顔が映ると、思わず歓声をあげたり手を振り合ったりする先生方。そんな姿を見て、私たちも「つながるよろこび」を感じています。



Zoom「おっ、映った」
先生方から歓声があがる



パワーポイントの録画機能により、音声や、話しているご自身の顔を入れることができます

訪問でお聞きした Zoomの活用例

- 〈休校中〉
- ・健康観察
- ・朝の会
- ・短時間の授業 など
- 〈通常の登校時〉
- ・授業参観、懇談会
- ・不登校傾向の児童生徒とのコミュニケーション など

先生方の感想から

- ・自分たちが体験することで、楽しみながら指導法を考えることができました。
- ・今後どのような状況が起こるかわからない中で、こうしたシステムがあることを知っておくことは安心感につながりました。
- ・早速翌日も子どもたちとやってみました。すごくよかったです。



今、こうした研修を積み、子どもたちと使い方を共有しておくことは、再び休校になった場合の備えになるね！

オンライン 学習 ～1人1台端末 時代を見据えて～ やってみよう

学校用

出前講座

県教育委員会では、「オンライン」で「児童生徒の学習支援」を進めようとする学校と先生をサポートします！

該当箇所に
チェック！

学習のオンライン化に関する教員のスキル

<input type="checkbox"/>	1	・学習プリント等をメールや学校のホームページを介して配信できる。 ・Web 会議システムを使って、パソコン等の画面越しに児童生徒とコミュニケーションを図ることができる。
<input type="checkbox"/>	2	・家庭学習を進めるときに参考となる授業動画を撮影し、データとして保存することができる。
<input type="checkbox"/>	3	・Web 会議システムを使い、家庭にいる児童生徒に資料データ等を提示するなどして学習内容の解説をしたり、質問に答えたりすることができる。
<input type="checkbox"/>	4	・児童生徒がいつでもどこからでもアクセスして学べるように Web 上に学習プリント等を提示し、そのコンテンツを活用して学習した成果物を添削等してフィードバックすることができる。 ・撮影した授業動画をパスワード等で保護された Web 上の閲覧サイトに載せ、児童生徒に配信できる。 ・インターネット上で、児童生徒がかかわり合いながら協働して課題の解決を図る学びを即時双方向的に行うことができる。

ICT習熟度レベルをチェックしてみよう！

学習のオンライン化に関する教員のスキル

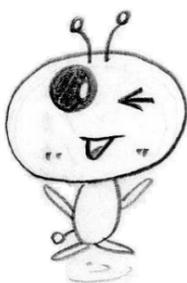
1	・学習プリント等をメールや学校のホームページを介して配信できる。 ・Web 会議システムを使って、パソコン等の画面越しに児童生徒とコミュニケーションを図ることができる。
2	・家庭学習を進めるときに参考となる授業動画を撮影し、データとして保存することができる。
3	・Web 会議システムを使い、家庭にいる児童生徒に資料データ等を提示するなどして学習内容の解説をしたり、質問に答えたりすることができる。
4	・児童生徒がいつでもどこからでもアクセスして学べるように Web 上に学習プリント等を提示し、そのコンテンツを活用して学習した成果物を添削等してフィードバックすることができる。 ・撮影した授業動画をパスワード等で保護された Web 上の閲覧サイトに載せ、児童生徒に配信できる。 ・インターネット上で、児童生徒がかかわり合いながら協働して課題の解決を図る学びを即時双方向的に行うことができる。

学校単位の申し込みも可能です。各校の端末を用いた研修を計画します。

期間：令和2年6月～令和2年8月

- 内容：オンラインを利用した教材の配付や授業動画撮影からの配信のノウハウ
オンライン会議システムを利用した双方向コミュニケーションの体験等を予定
- 申込みは、下記の教育事務所へお願いします。
 - 出前講座の日程や内容等の相談は、各教育事務所の担当指導主事にお問い合わせください。
 - Web カメラを搭載し、オンラインで利用できるパソコン・タブレットなどをご準備ください。

東信教育事務所	☎0267-31-0251	✉ toshinkyogakou@pref.nagano.lg.jp
南信教育事務所	☎0265-76-6860	✉ nanshinkyogakko@pref.nagano.lg.jp
中信教育事務所	☎0263-40-1976	✉ chushinkyogakko@pref.nagano.lg.jp
北信教育事務所	☎026-234-9551	✉ hokushin@s@pref.nagano.lg.jp

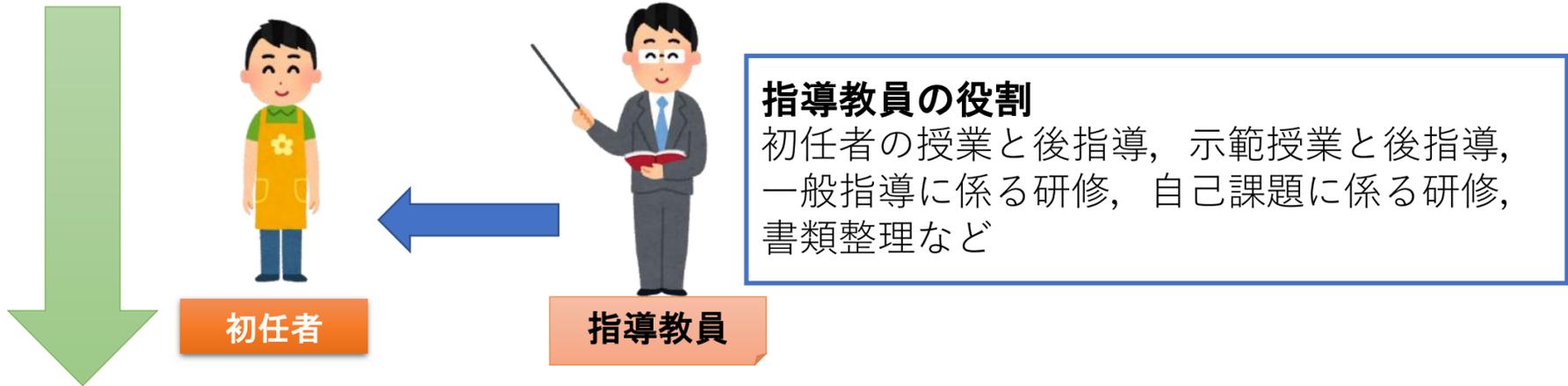


「オンライン学習 やってみよう」研修は、8月末日まで行っています。ご希望がありましたら、中信教育事務所までご連絡ください。

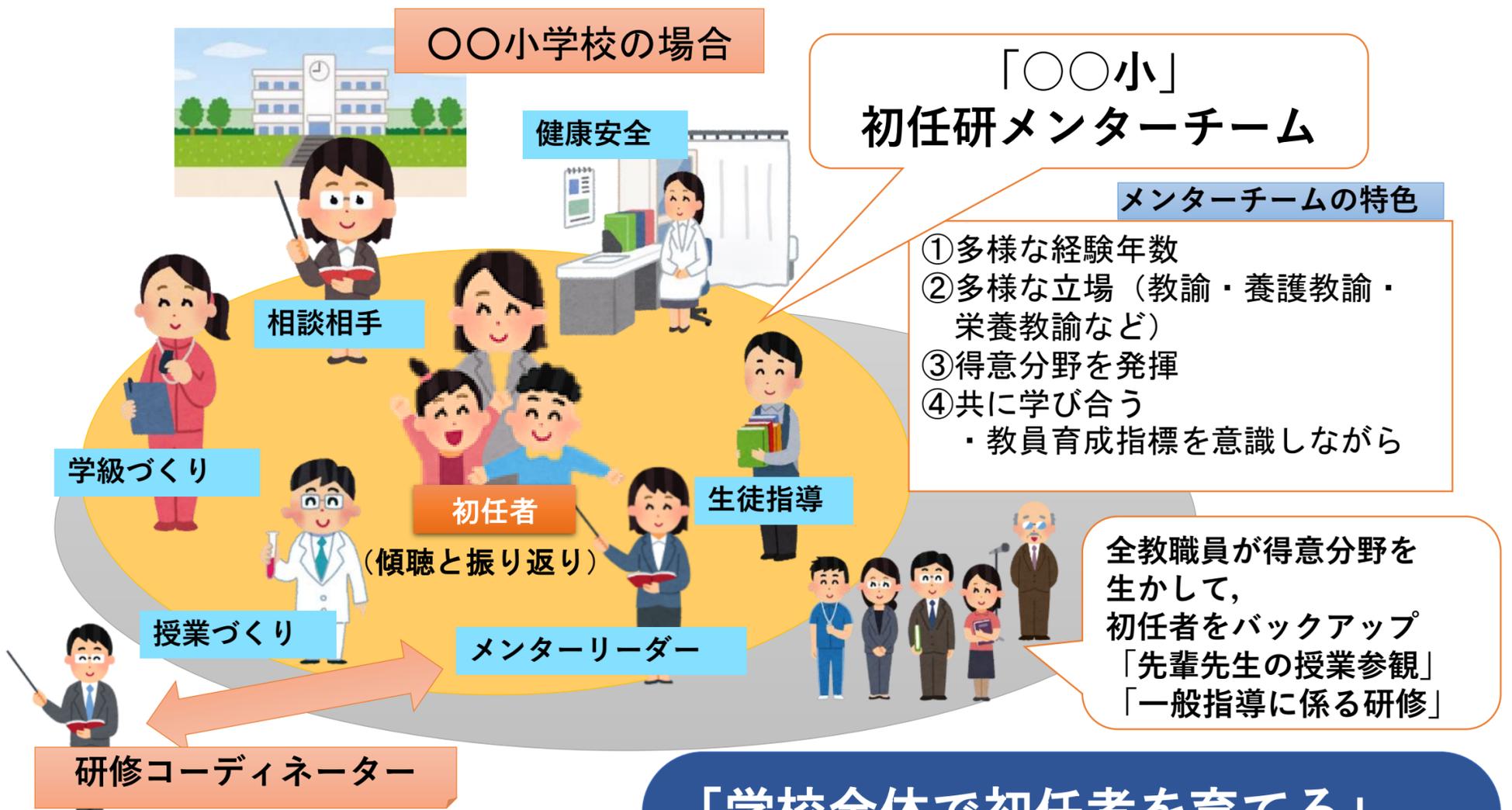
初任者研修メンター方式とは？

今年度より初任者研修対象者所属の一部の学校において、メンター方式による試行が進んでいます。そこで、今までの拠点校方式との違いや、メンター方式のよさについて確認をしていきましょう。

初任研拠点校方式では・・・1対1の指導が中心



初任研メンター方式では・・・チームでの指導が中心



研修コーディネーターの役割

- ・「初任者の授業と後指導」を担当
- ・初任研メンターチームへの指導
- ・メンターリーダーとの連絡調整
- ・関係書類の作成・整備 等

メンターリーダーの役割

- ・初任研メンターチームや初任者研修校内研修全般を運営

メンターチームの先生方の役割

- ・得意分野を生かして初任者を支える
- ・共に学び合う

「学校全体で初任者を育てる」

それぞれの教員が初任者に関わってチームで指導します。また、校内の先生方にとっては、初任者に教えることで自分自身のキャリアを見直し、改めて学ぶ機会となりますし、そこに講師の先生方や若手の先生方も加わることで、学校全体の教師力の向上を図ることができます。

今後の「共に歩まん」では、メンター方式を試行されている学校の具体的な取組についても紹介していくよ。

